AC
ASCII COMIX
フロントミッションシリーズ
ガンハザード
GUNHAZARD
松田大秀
フロントミッションシリーズ ガンハザード
GUNHAZARD
松田大秀
アスキーコミックス
ASCII COMIX
ASCII

CONTENTS

西暦2030年
ドイツの大型機械メーカー
ガングシュナイダー社は
二足歩行型作業機械の
軍事用プロトタイプを
初めて世に送り出した
軍事用に武装化された
この奇妙な鋼鉄のけものたちは
ヴァンドルング・パンツァー(歩く戦車)
と名付けられ
以後の戦争の主役を担うこととなった

ヴァンドルング・パンツァー
通称"ヴァンツァー"は
特殊な局地戦争に
従事した不正規部隊
ことに傭兵部隊に
こよなく愛された
兵器でもあった

極寒のシベリアから
熱砂のアラビアまで
鋼鉄の兵士たちは
文字通り
世界のあらゆる戦場を
疾駆し戦ったのだ

この物語は
つねにヴァンツァーと共にあった
彼等の物語である

西暦2064年……
ヒュ〜〜〜
およ?
わ!?
バガッ

Vol.1 Blenda Lockhart
〜ブレンダ ロックハート〜

えらくハデだな
ドドドドド
ズドーン
どうだやったか?

バッチリよ
ゴオオオオン
奴さん目を回してるわ
う～～

手足の1本くらいなくても生きてりゃ賞金は倍額だよくやったぞブレンダ

わたしの爆撃の腕を信じなさいよボリス!!

明日は当局に奴の身柄を引き渡したら仕事は終わりでしょ
ねえボリス
久しぶりにゆっくりと街に出て買い物でもしようよ
ちゃぷ
買い物？
…ま いいだろ おめえも女だしな
シャッ シャッ
ヤッホー
バシャ バシャ
おい おい

ベルゲン共和国
エミンゲン空港
ゴオオオオオオン

いろいろ買い物ができそうね――
けっこう都会じゃない

ん？

あれは…ヴァンツァーか!?
しかし…
あの巨大さは…

まさか…
あれが
こんな
ところに!?

ねえ
ボリス
聞いてるの!?

あ…
いや
すまん…

BOOM
そうだ
ブレンダ
俺はちょっと
用事ができた
この男はおまえが
連れていって手続きを
済ませてくれ

ちょっと
ボリス!!
どこへ…
もう…
プルルルルル
シュラムだが
?
チャリ
ボリスだ
いやなに
懐かしいな
ああ
うむ
ちょっと
時間が取れないか?

葉巻は?

いや
けっこう

商売は
順調のようだな
けっこうな
羽振りじゃないか

貿易商で
なんとか……な
傭兵時代に
比べりゃ
極楽さ
そういや
ブレンダちゃんは
どうした?

もう立派に成人して
美しい娘になったろう?
今じゃ
腕ききの
賞金稼ぎさ

そうか…
あの娘がねえ
……
因果だな…

そう非難がましい目をするなよ
育ての親が俺じゃしょうがねえさ
で用件はなんだい？
昔話をしに寄ったわけじゃあるまい？
ん〜〜〜やっぱミリタリー調かしらね
よくお似合いで
歴戦の傭兵に見えるかしら
キュ
止まれっっ!!
動くと撃つぞ!!
すちゃ
へへ…
これいただくわ

どう思う？
この写真
どうって？
建設用の大型
ヴァンツァーだろう
おいおい
ブラックジャック・シュラム
と呼ばれた
おまえさんらしくもない
そいつは
イギリス製BL―7
通称ワグテイル（せきれい）
しかし
まさか…
ワグテイルは
わが国には配備されて
いないはず……
航空機とヴァンツァーの
混血児(ハーフ)ってとこだ知ってるだろ
30ミリバルカン砲を
搭載した
恐ろしく強力なマシンだ
まちがいねえ
そうさ
俺もまさかと思ったね
この静かなベルゲン共和国に
なぜこんなキラーマシンがあるのか
……とね

情報が欲しい
国際的なテロ組織か
それとも国家転覆の陰謀か…
久しぶりに大がかりな戦いのにおいがするぜ

儲け話か？根っからの傭兵だなきみは
だが
何も起こりやせんよこの平和な国にはな…

まァしばらくここにとどまって様子を見るさ
何かわかったらここに
連絡をくれ

じゃ

………
クシャ

しばらくここに？

こんなのんびりしたところにいたら体がなまっちゃうよ
筋肉トレーニングを欠かすなおまえは腕力で他人に劣る

どこへ出かけるのさっ？
情報収集だ緊急時に備えておまえは待機

もおっ
ダッ

バム

ザッ

ズッ
ダッ
うおッ
ザザッ

ギュッ
!
ぎええぃ
ダッ
ドガッ
ギャキキキキッ

チャッ
!
ふっ
ふっ
ふっ
ふっ
ふっ
ゴトッ
誰？
ボリス？

チャリ

ボリスっ
!?

ブロロロロロ…

ブレンダ!

シュラム…

ほんとうに
久しぶりだ…
大きく
なった…
どらシュラムおじさんに
顔をよく見せて
ごらん

あ…
いや すまん
ボリスの
容態は?
906
面会謝絶
です
なんとか命は
助かりそう
ですが…

いったいなぜ
こんなことに？
ボリスから
何も聞いて
ないので…
わたしには
さっぱり…
そうか…
警察には？

自分の身は
自分で守る
それが
あたしたちの
不文律でしょ
ポン

なるほど
そうだな

906
カチ

ドッ
!
バッ
グッ!!
ベッドはカラだ!!
ズシャッ

やっと見つけたぜ
ワグテイル(せきれい)ちゃん

NORAD軍
装甲騎兵第7師団基地
こんなところに
いたとはなァ

こいつは反政府集団や
テロ組織なんて
チャチな相手じゃねえ
本物の軍隊だ
正規軍が反乱を
起こそうと
してやがるんだ

こちら
ボリス
ブレンダ
聞こえるか!?
オーケー
感度良好よ

うッ!?

ボリス!!
やるじゃないか
きみにはまんまと
一杯くわされたよ

そのとおりだ
もう遅い
何か
言い残すことは?

ブレンダ
よく聞け

俺の読み違いだ
俺たちが相手にしていたのは——
国家をも動かす
力を持った組織——
ズズ

撃てッ!!

ボリス…!?

ザー

応答して
ボリス!!

ブレンダ？
いつからそこに？
だいぶ前から…
あなたとゆっくりお話がしたくてね
例のワグテイルを密輸入したのはあなただったのねシュラム

そう…
昔のコネが役に立ったよ

誰のために？

それに答える義務はないだろう
傭兵はスポンサーの秘密を明かさないものだ

なぜボリスを…

今この時期に余計な動きをしてもらいたくなかった…
また彼に〃作戦〃を知らすこともできなかった

長い間の親友だったのに
それは違うなブレンダ

我々には真の意味での友人などいない
我々は戦争という冷酷なチェス・ゲームの駒にすぎないからだ

作戦(オペレーション)とは!?
パ
もう時間だ
ドド
すぐにわかる

フッ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
停電!?

みごとだ
ブレンダ
ゴトッ
ズル…
ボト
あなたのほうが
速かったわ
なぜ
撃たなかったの
ふ…
私も老いたな
引き鉄を引くときは
目標を殺るときだ
今までずっと
そうしてきた
だが
きみを殺す
気になれなかった

この国を出ろ
ここはもうすぐ
地獄になる
さっきの
爆発…

変電所が
襲われたのだ
クーデターだよ
う…

ブレンダ
きみが少女のころ
よく肩車を
してやったよ
覚えているかい

不思議だな
きみに再会したとき
あのころの光景を
妙にはっきりと
思い出した……

もう
行きたまえ
愛しい娘よ…
気をつけて

政府スポークスマンの発表によると——

混乱に乗じて大統領を拉致したアルベルト・グレイブナーは依然として逃走中

だがこの国を
離れる気には
ならない

あたしの
知らないところで
何かが動いている…
それがなんなのか

自分自身で
たしかめてみよう
……
そう心に決めたのだ…

Vol.1 Blenda Lockhart/END

Vol.2 Luven Alhadi

～ルヴェン アルハーディ～

ブロロロロロロ
おれの名はルヴェン
暗号名（コードネーム）は〃ボマー〃
アラブ連邦軍（ARS）
情報工作員に
して爆発物の
専門家…

ブロロロロ

アラブ連邦
ゾハル同盟軍
アムサール基地

やあ料理長
いい食材は入ったかね?

ブロロロロロ…
うらやましいもんだな司令官殿は毎日うまいメシが食える
まったくだ

おい
着いたぜボマー
くそ
たまらねえにおいだ
いったい何を積んでるんだ!?アイアン・マン
うっひゃひゃっ

おまえがあらわれたとなると今回の仕事もこれで終わりだな
ああ
48時間以内に破壊活動を完了してトンズラする
それともうひとつ
ある噂の真相を確かめる

…で 例の
カサラ・ダムだが

ああ
どうやら
メドは立った
ようだ

爆撃で破壊
するのかね？

いや
それが違う
らしい
じつは──

カチャ
カチャ

タバリー君

いつも
ながら
じつに美味い
料理だ

恐れいります
司令官閣下

不公平だわ
自分の部屋で
こんなに水が使えるなんて
司令官殿の
お気に入りだからな
俺ァ
これで
ダブルベッド
なら文句
ないんだがね
ばかねえ

アッラーのお怒りにふれるわよ

髪へんじゃない?

ああ

ん

じゃあね

おい

びく…

ずいぶんとお楽しみだったな

えっ!?

いやじつはな
あの娘は
本部補給隊の
イーサちゃん…
そういうことを
聞いてるんじゃねえよ

なあ ボマー
いやさ
ルヴェンよ
友人として
聞いてほしいんだが
……

どうやら
俺ァ
……
あの娘に
惚れちまったらしい

なあ ルヴェンよ
俺ァ
本気なんだ

笑いたきゃ
笑え
こいつが
バカげた
ことだってのは
わかってるんだ

しかし
どうするつもりだ?

仕事が終わったらイーサを連れて逃げる
いまだって同じ基地内にいながら離れていることに耐えられないんだ
彼女を愛してる
……………
奴の身辺に何か変化は？
いえ少佐
とくに変わったことは……
ARSに潜入させたわが軍のスパイからの報告では――
暗号名〝ボマー〟がこの基地への侵入を企てているはずなのだ
あのシェフがARSの工作員だということは調べがついている
奴をマークしていればボマーは必ずあらわれる

ところで
シェフに関する君の報告は最近やや不正確なようだね

いえ…
そんなことは…
あッ

まあいい
問題はボマーだ

かつて奴の仕掛けた爆弾は私の右目を奪い去った

だから…
奴だけは逃がさない

よし
次だ
頭を冷やせ
アイアン・マン
おまえが本気でも
女のほうはどうだか
わからんぜ
俺だったら
女は信用しない
そう…
おまえなら
だが
あいにく俺は
おまえじゃない
裏切られる
かも知れんぜ
？
ウソつけ
怖くないさ

さて
細工は流々って
とこだが…

ふっ

タッ

タム

ちャッ

さすがに
司令官室とも
なると…
ピー

タッ

ちッ
解除キーが二重に暗号化されてやがる
味なマネを…

いつもながら

このスープは絶品だよ
料理長(シェフ)

は
ありがとうございます

よーし
おりこうさん

そうか
ちくしょう
カサラ・ダム破壊作戦は
やはり現実のものだったのか

来たかいがあった
データのコピーを…

ブッ
あッ
これは……
爆弾!?
ガサ…
ここは料理長の部屋だぜ
何をしているんだ?
あ…
あなたは……

ボマーね!?

おれの暗号名を
知ってるとなると
――
ただのネズミじゃ
なさそうだな
逆スパイか？
見ろ
アイアン・マンの奴め
俺の心配した
とおりじゃねえか

あたしを
殺すの？
ちら

いま考えている
とこさ

ガッ

保安部!!
侵入者が!!
ちッ
はウッ
ふむ…
動いたか!?
これは…

曹長！
ふたり連れて
料理長の部屋を
チェックしろ
はッ
不審な者を
見逃すな

シェフは
？
現在は
厨房ですが

すると部屋には
第2の人物が
いたことになる

おい
起きろ！

ここは…
基地内の
排気ダクトだ

あんたのおかげで
事態がややこしく
なった
その責任を
取る気は
あるか？

どういう意味!?
つまりだ
俺たちと一緒に来るか…
ということなんだが

一緒に…!?
ARSへ?
だって
そんな…

タバリーは
あんたのことを
愛してると
言ってるぜ

だめよ…

逆スパイ(カウンター)だったと
わかれば——
おしまいだわ
いままで彼を
だましてきたんだもの

奴がどう思うか
俺は知らん
奴にもう一度
会いたいのなら
俺と一緒に
来い

会う気はあるか？

ええ…
会えるのなら…

じゃ
行こう

あんたが会いたくないと答えていたら
あんたを殺るつもりだった
捕虜を取る余裕はないからな

イーサの行方は知れない
…となれば…
だがボマーが動いているのは確実だ…

シェフの身柄を拘束する
基地内に第一級警戒体制を！

料理長殿
スパイ容疑だ
君を逮捕する

ふむ…
意外だな
何か証拠が？

イーサは君の行動を逐一私に報告していた
彼女が!?
ショックかね？

君に聞こう
ボマーはどこだ？

さて…と
やっかいなことになってきやがったな

しかし…
だいたい
なんだって俺だけが──

こんなせまっ苦しいところをはいずり回らなくちゃならねえんだ
ガーン
いてッ
まったく理解に苦しむぜ

ザッザッザッ

ふふ…
大笑いだ
何か言ったかね？
カッ
カッ
カッ
カッ
カッ

いやなに
女に手もなくだまされた――
自分の哀れさがおかしくてよ
カッ

カッ

お迎えに来たぜ料理長殿
ボマー!?
うわ…
パチン
ドガガ!
ぐあ!?

ズ
ン

ううッ
ゲホッ
ゴホッ
ボ…
ボマーは!?

敵だっ!!
バカ野郎
こんな
ところで
撃つな!!
ダダダダダダ

ちくしょオッ
なんて荒っぽい
お迎えなんだいっ
!!

逃がすなッ
警報を!!

アイアン・マン
急げ!!

まだまだ
お楽しみはこれからだ
ドン
わあっ
ウウウウウウウウウ
なんだ?
警報か?
総員戦闘配備!!
緊急事態(コンディション・レッド)!!
ドガガ

基地内のいたるところに爆発物が!!
ぐぐ……
このままでは基地機能が停止しますっ
ボマー……
暗号名"爆発屋"ってのは伊達じゃないぜ
あッ
イーサ!?
あ…
………
あいにくだがメロドラマを演ってるヒマはないんだ
おふたりさん
おれはヴァンツアーで援護する君らはトラックを使え

ここを無事に脱出できたら――
君と一緒に暮らしたい
過去は問わない
未来を夢見たい
イエス…と
言ってくれ
…イエス
よおしッ行くぞ!!

ドドドド
うお!?
ヴォン
全員そこを動くなッ!!
ルヴェン!!

アイアン・マン
走れッ!!
!
ここは
俺がおさえる
行け!!
ガッ!!
バカめ
捕らえろ!!
はッ
ドシュウウ!
ちくしょう
だめか!!
逃げきれねェ

ドゥ
!
ドン
ぎゃあ
ガゴン
残念だったな
な・・・
あんたがたのヴァンツアーはすべて使いモンにならないぜ
動き出してしばらくするとドカン パァだ
死にたくなかったら——
あとは 追うな

じゃ
あばよ
ヒュ――――ッ
なにイ
!?
ズボッ
ズガガガガガッ!!
うおおおっ

ボマーーッ
くッ

502号 出ろ!
ガチャ
…………
これから君は
我が軍の移動司令部
ガレオンに移送される
むこうでは
拷問のエキスパートが
君を待っているぞ
楽しみに
していたまえ
ケッ
ジャラ
バタバタバタバタバタ

タバリーの奴が
うまく逃げ
おおせていれば
あるいは助けが
来るか…
あまりあてにゃ
ならねえな
……
だが
あきらめる
のは
俺の性分に
合わねえ
バタバタバタバタバタバタバタ
絶対にな
俺の名はルヴェン
暗号名（コードネーム）は〝ボマー〟
ARS情報工作員にして
爆発物の専門家…
Vol.2 Luven Alhadi/END

Vol.3 Akihiko Sakata
〜サカタ アキヒコ〜
原案協力 DEATHくん

テロリスト〝赤ザメ〟…じつはソサエティの兵器開発チームだったとは
じゃがそれも終わった
基地は壊滅じゃ
いや
ソサエティは巨大だ
この程度の損害は屁でもねえぜ…たぶん

ニューヨーク
傭兵派遣機構
カーネルライト協会
事務局
次の依頼人のホセ・アバブ氏は――
南米ペルー共和国マチュピチュ市長だ
当地のリゾート施設のオーナーでもある

リゾート！
リゾートって言ったよね！アルベルト
リゾート！

契約の日付けにはまだ間があるじゃない！
リゾー
南米のリゾートでひと泳ぎッ!!
ブレンダ
あのね…
さあ出発出発
聞いてないな…

さ
いよォ
アルベルト
休暇を
楽しんでる
か？
あ…ああ
まあな
さすがルヴェン
手が早えェ…
さーあ
いっちょう
泳ぎましょう
アルベルト!!
シャッ
休暇か…

ルヴェン…
クラーク…

エミル…
アクセル…

いいもんだな
気のおけない
仲間たち…
そして…

ブレンダ…

おや…
そういえば

あの先生は
いったい
どこに…？

うむむ

こッ
これは…!?

Dr.サカタ
ここにいたんですか
何か
問題でも？
うむ
日本にある
ワシの研究所の
メイン
コンピューターに
何者かが侵入した
形跡がある

うかつな…
ハッキング
されたのは
もうだいぶ前
じゃな
だがワシの施したプロテクトを破っての
侵入とは
ハッカーとしては
超一流…

うむむ
何かやな
予感がするのう

ガコン

博士
完成しましたッ
うむ!!
ご苦労ッ

ついに完成したか
待っていろサカタ
この天才御手洗兼介の造った――

新型ヴァンツァー〝暁〟が!!
きさまを木端微塵に打ちくだいてくれるわッ!!

うわっはっはっはっ

お客様
お手紙をあずかって
おります
サカタ様
あての

なんて書いて
あるんだ
わかるか?
ルヴェン
さあ…な
俺ァスワヒリ語は
苦手でね

むむ…
なんじゃい
これは!?
決闘状
御手洗兼介
パラ…

御手洗…?
あいつまた
ワケのわからん
ことを……

誰なんです
?
同級生でな
一緒にシールド工学の
研究をしておった

なんか恨みでも
買ったんじゃ
ねえのか?
先生
一文の得にも
ならねえ
巻き添えは
ごめんだぜ

この人格高潔なワシが人の恨みを買うだと!?
ぐしゃ
ふん
こんなモン何かのイタズラじゃ!

ポイ
さー研究研究

ふむ…

博士
もう日が暮れますが……
ザザーン

サカタめ
ギリ…

うおおのれえ
夜明けから待ったというのになぜ来ないいっ!!
そこまで俺をコケにするかあ!!
ぐおおお

もう
許せん!!
どんな手を
使っても ヤツを
ひきずり出す!!

ブレンダさあん
もう
帰りましょうよ
〜〜〜
ちょっと待って
エミル
あと
チリソース用の
トマトが…

もうッ

ブレンダ
さーん

え!?

むぐッ
!?

あったあった
これ美味しそう〜〜〜
…て
エミルぅ？
あれっ
どこ行ったの？

第2弾が
届いた
エミルを拉致したのは
例の御手洗じゃ
ないんですか？
決闘状2

ドクター
話してくれませんか
どういう
いきさつがあった
のか……

御手洗とは
高校時代からの
同級生じゃった
………

御手洗はすでに
そのころから
ワシをライバル視して
おってな……

ワシが将来シールド工学の
道に進むと言うと
ヤツも張り合う
ように同じ道に
進んできた…

御手洗は
たしかに
秀才では
あったが
……
サカタくんっ

論文の調子は
どうっ？
いやまだ
半分くらい
だが
遅いなっ
オレのはもう
できたぜっ

どれ
見せてみろ
オレ様が
添削して
やるっ

うッ

ばばば
こッ
これはッ!?

ばさ

おいおい
他人の論文を
……

ふ
ふははははは…
か…完璧だ…
オレの理論をも包括し
さらに高度な統合理論
を展開させている……

この男…
天才かっ!?
?

その後
俺は研究の分野で
常にヤツに出し抜かれた
……何度も

そして
それだけではなく
プライベートな生活でも
……

カタカタ
カタ

榊原キヨコ…
彼女が研究室のスタッフに加わったとき……

我が心は一瞬にして彼女の虜となった…
あ
おはようございます
や…
やあっ

うぃ〜〜っす
おー キヨちゃん昨日のアレできてる?
あっ
できてますヨー

キヨちゃん
だとお〜
くううーっ
サカタめ
なれなれしく

あっ　こら
ンなに
くっつくんじゃ
ないっっっ!!

えっ？

俺と
交際して
くれ…
いや
くださいっ

御手洗さん…

ごめんね
以前からなんとなくわかってはいたんですけど…
わたし

ほかに
好きなヤツが…

まさか…
サカタが…

今回の件は
ワシの問題じゃ
ひとりで行く！
まあまあ
無理すんなよ先生!!

アクセルとクラークも連れてくりゃよかったんじゃねえか？

御手洗とかいうイカレた先生が――
別動隊を持ってるかもしれん
ベースキャリアの留守番が必要だ

廃棄された鉱山か？

場所はここでいいようだが……
ブレンダ熱源感知センサーに反応は？
なし
何も感知できないわ

ふ…
やって来おったかノコノコと

バカめ
作戦第1段階発動だッ!!

ウイイイン
クイイイイイイ

うわあ

しまった
パラライザーだ
電気系統
麻痺！
行動不能

アルベルト！
ルヴェン！
大丈夫かッ!?

サカタ・アキヒコ!!
よく来た
久しぶりだなッ!!
!!

御手洗…
!?

そ…そのヴァンツァーは….
水月!?

ちがーうっっ
これは
私が開発した
新型シールド
ヴァンツァー
名づけて
〃暁〃
だっっ
おたがいシールド
工学者同士――
シールド対決で
決着をつけようではないか
なあにが対決じゃ
!!
ワシの
コンピューターから
実験データを盗んだのは
おまえじゃな!!
ワシの精魂込めた
〃水月〃のコピーなど
造りおって!!
もう
許せん!!
無礼な!
コピーだとォ
!?
〃暁〃はオレの
オリジナルだっっ!!

ぬぬう
そこまで根性腐り果てておったか御手洗！

ご同伴の諸君の手出しは無用！
ヘタに動けば人質を殺すッ

行くぞッサカタ!!

ドッ

電気系がなんとか回復してきた
そっちは?

ああ動けそうだ
だがエミルが捕まっていちゃ手は出せねえぜ
ブレンダが背後に回り込んでるはずだが……

フン素人が
プロの傭兵をナメんじゃないよッ!!

わあ

うおおおッ
HIIIIIIIIINN
な
なぜ
それほどまでにワシを憎む!?
たしかに貴様はシールド工学の天才かも知れん
だが!
人間としては最低のカス野郎だからだあぁッ

自らの研究に没頭するあまり家庭をかえりみず―

キヨコさんを病の床に死なせたのは―

貴様だ!!

貴様の責任なのだッ!!

ドクター
離れろ
エミルは
ブレンダが
助けた
そんなイカレポンチに
かまわず
ずらかるぞ!
引っ込んでろ
馬鹿モン!!

ワァッ !?

コピーではない!!
と言うとろうが!
水月にはない攻撃能力も
ちゃあんと備えておるわ!!

アルベルト
まだ生きとるか?

ああ
なんとか

水月の左脚駆動ユニットの
右上方30°
前部装甲板の最下部から
測って33センチ…
そこに斥力シールドの
ピンホールが…ある

バグン

御手洗の〝暁〟にもあるはずだ
そこを撃て！
できるか？

ザザ

ドドン
な…
なんだ⁉
シールド出力が
異常低下⁉
そうか…
斥力シールドの
キーリング回路
干渉波がピンホールを
……
こ…
ここを破壊
されれば
シールド全体の
出力が低下して…
わああッ
ドドドドド

ぐわあああッ
ガガガガガッ

やったな！
おっさん

いや
負けたのはむしろ
ワシのほうじゃ

ヤツに勝てたのは
ワシの研究の未熟さ
ゆえ
技術的に
解決不能だったのだ
……
あの
ピンホールは…

キヨコよ…
すまぬ
ワシの研究の道のりは
まだまだ遠いようだの…

入国管理事務で
すっかり
手間どっちゃった
わねえ

まったく
お役所ってとこは…
みッ
御手洗!?
よお
い…生きておったのか
オレの〝暁〟は
貴様の〝水月〟よりコックピットが頑丈でな
安全性を考慮に入れてある
ふん
その点〝水月〟はなっとらんぞ

あ…ああ
そうかもな
まあいい
日本に帰ったら
――
連絡しろ
酒でも
つき合ってやる
ああ
いいね
おまえの
おごりだぞ！
ああ
そうしよう
友よ……
Vol.3 Akihiko Sakata/END

アニタ・ディアモンテ

謎の組織ガーディアン
南米支部のリーダーと目(もく)される
人物……

我々ソサエティ側にとっては
目ざわりな存在だ

ミスタ・
ジョン・フォックス

君は我々の
知るなかでもっとも
すぐれた狙撃兵(スナイパー)だ

どうかね
やってくれるな

いいでしょう

危険な
ターゲットだが
それだけに
スリルは十分だ

それと報酬も…

Vol.4 Anita Diamonte
～アニタ ディアモンテ～

よーし
この村で
小休止だ
トーマス
降りてゆっくり
しろよ
ここの村長は
ガーディアンの協力者だ
待てよグラント
なんか変だ…
いやに静かだぜ
気をつけたほうが…
うわあ

ドドドドドドドド
ま…
待ち伏せかッ!?
くそったれ
ども!!
このグラント様を
なめるなァ
ガッ
バギン
ドン

ドドドドドドド

どうだ!!
思い知ったか
クソ野郎どもが!!

グラント
もういい!
カービィが
やられた!!

ゴオォォォ

村長!!
きさまは
ガーディアンを
裏切って敵を村に
引き込んだ!!

みんなよく見とけ
裏切りの代償は
死だ

チャ

ひいッ!!
待ちなさい グラント!!
銃をおろしなさい!!
アニタ…
ヤッヤッヤッ
………
カッ

うおぃ!

……

村長

あの村長だって必死なんだぜ
ソサエティは村を皆殺しにするくらい平気でやってのけるんだ
奴らにおどされてガーディアンを裏切ったって生きるためだしょうがねえさ

ありがとうよトーマス
そう落ちこんじゃいねえから安心しろ

だがなあ俺ってやつは……
馬鹿だな

熱くなるととことんまでやらなきゃ気がすまねえ
アニタが怒るわけさ

UPI支局の
？

ジョン・フォックス
取材の許可を
ありがとう
ございます

本を書こうと
思いましてね

謎の組織
ガーディアンに
ついての…
しかし
さすがに厳重な
警備ですな

残念ながら
公開できることは
多くありません
グラント

ミスタ・
フォックスの
案内を
はっ

このあとの
予定は？
カツ
カツ

一〇〇〇時
アンバー基地において
幕僚会議
一三〇〇時
レーク基地にて
会談
そうだったわ
すみません
あら
なんの？
兵隊の
調達に
関してです
でもそうすると
昼食はどうするの？
あ
いいわ
移動中に
つまめる
ものを
何か
そう…
チーズ
バーガー！
そのソサエティに
対抗するために
ガーディアンは
生まれた…という
話ですが――
現在 世界で
発生している紛争を
背後から操っている
ソサエティという
組織――
3B
戦況は
よくないようだ
あなたはソサエティに
勝てるとお思い
ですか？

なんだと
勝てるか……だとォ？

いいか よく覚えとけ!!
いつか必ずソサエティの黒幕をあばいて――

ウジ虫どもを皆殺しにしてやるぜ!!
威勢だけはいいようですな

調査結果記録

ガーディアン基地内での暗殺は現実的ではない
警備が厳重なため逃走が困難

目標(ターゲット)が基地外に出るときを狙う
アニタ・ディアモンテの詳細なスケジュールを入手することが重要だ

明朝の会議まで6時間あります
少し休まれては？
そうね
変わったことがなければ5時間後に起こして
キュッ
ふう
カラン

スウ…
グラント
ここにいたのか

もしかして
毎朝教会に?
まあな
なあおい
グラント
おどろいたな
アニタへの
かわらぬ恋心でも
告白してるのか?
バカヤロ
そんなんじゃねえ
前から不思議
だったんだが——
おまえさんが
アニタにだけは
犬のように
従順なのは—
いったい
なぜなんだ?
アニタのことを
想ってるからだ
そうじゃないのか?
トーマス
おまえも
知ってるだろうが
アニタに初めて
会ったころの俺は
——

手のつけられない暴れ者だった
敵を見れば誰であろうと容赦なく殺した
味方ですら俺のことを「血に飢えた殺し屋」と呼んだ
「殺し屋」と呼ばれた俺のことをみじんも恐れていなかった…
俺アなそのとき
グラント
あなたは殺しすぎる
天使を見た……と思った
気がつかないの？あなたの心は死んでいるのよあなたが殺した人たちと同じく
……
あのときのアニタの目は澄んでいた…

これは極悪無残な
人生を送ってきた
俺を哀れんで
神が遣わされた
天使だ…
だから毎朝
祈っているのか
俺は天国へ
行けないから
死んでからじゃ
神様に会って
お礼を言えない
からな
このマンションが
射撃位置としては
絶好だな…
グオオオオオ
来たか
ニヤリ

グゥオオオオオオォ
そうグラントを応援によこして

敵の数が多いときはグラントのほうが頼りになるわ
現場急行するように言って!

アニタのエスパーダだ

基地から出撃するとき
目標（ターゲット）は必ずこの街の上空を通過する

狙撃のシミュレーションは以上だ
準備はほぼ完了した
作戦実行は明後日
国外への逃走経路確保を頼む

グオオオオオオ
殺（と）ったな…

了解した
作戦の成功を祈る
フォックス

いよいよだな

エミンゲンクーデターに関するレポートです
ごくろうさま
そこに置いて

やはりあの事件の背後にもソサエティの影が…

エミンゲン事件におけるキーマン
アルベルト・グレイブナー
……か

ガザラ地区の戦況は？
ヴァンツアー2個中隊ほどの兵力ですが
敵は増えつつあります

グラントは？
現場に急行中です
午後の会議はキャンセル
わたしもエスパーダで出ます
すいません
ガス会社の者ですが
はいはい
ナァに？
これからお店に出なきゃなンないんだけどォ…

ザッ

オーケー
やはりこの部屋が最良の射撃位置だ

カチャカチャ

ズシャズシャッズシャッ

おッ

アニタか
くそ
このオンボロじゃ
置いてけぼりだ

ドッ

ア…
ア…
キャ
うおおおおおッ
バカなッ!!
アニターーッ
アニタあぁッ!!

ズシャ
うッ!!
そのヴァンツァー止まれッ!!
のろまめ
その旧式で私を捕捉できるものか

奴か!?
奴が狙撃手(スナイパー)か!?
ドドドドド
逃がすかァ!!

ズガガガ
やったか!?
ゴオオ
ドガーガガガガ
うおおおお!

ドゥガガガガガッ
ほう…
ゴオオオオ
さすがに旧型とはいえ
重装甲の大型
ヴァンツァーだ
これだけ弾を
くらっても
火がつかないとは
うう…
なあ グラントさんよ
どうやらガーディアンに
勝ち目はなさそうだ
人間
勝ち馬に
乗らなきゃな
え？
そうだろ

ズガガ
うぉ!?ッ
バグ!!
ドウオオオオオオオオオ!
エ…
エスパーダ!?
ばかな!!?
じゃ…私が撃ったのは!!
ドン
ドゥッ

ヒュウウゥゥゥ!

う…

気がついたようね

アンタ…
俺は死んだのか?
ここは天国かい?

ああ…くそ 頭がガンガンするぜ

アニタ… どうして 助かったんだ!?

あたしが出撃する 直前に――

諜報部から 報告が届いたわ それで無人のエスパーダを 先行させたのよ

最初っから
いけすかねえ
野郎だった
ばッ
グラント…
ちょっと
だいじょうぶ？
ああ
心配ねえよ
なあ
アニタ
あのとき…な
あのとき？
エスパーダが
墜とされたときさ
アニタがこの世から
いなくなったら……
墜とされたときに？
………何？
俺の…

Vol.4 Anita Diamonte/END

Vol.5 Crimson Blow
~クリムゾン ブロウ~

残念だが
この条件では
我々は働けない
クリムゾン・
ブロウは
慈善団体では
ないのでね

報酬が少ないと
………!?
我々には
とてもこれ以上は
……

では
話はなしだ

待ってください

きみは?
似ている…
連合評議会代表
モース・ホートンの娘
アテナ
私の父は
改革のために立ち上がり
——

政府軍の傭兵たちに
殺されました

彼らに捕らえられ
拷問と辱しめを受けたのです

そして
私も——

お金はなんとかします
どうか私たちに
力を貸してください
ジェノス・フェルダー
………

伝説の傭兵
クリムゾン・ブロウだと？
ふん
バカバカしい
見ろ
あの向こうに
見える街が――
連合評議会の
最後の砦だ
あの街が陥ちれば
奴らはこの国には
とどまれないだろう
もはや内戦は
終わったも同然だ
たとえ軍神が
降臨したと
しても――
勝負はひっくり返せない
我々ムールマン・コマンド
の存在する限りはな

パーティー
ですって!?
そう
クリムゾン・ブロウ
到着を歓迎して
パーティーを開いてもらう

冗談のつもりなの!?
笑えないわよ
ちっとも

私は冗談は
好きじゃない
開催は明日午後6時
盛大にお願いしよう

まったく
この非常時に
パーティーとは…
何を考えて
いるのか
ミス・ホートン
もう7時ですぞ
主賓の
クリムゾン・ブロウ
の方々は
どこに?

さあ…
それが……
姿が見えないのです
チカ
チカ
ルーク
ビショップ
配置についたか?
こちら
ルーク
配置完了
ケッ
そっちこそ
トロトロ
すんなよ
おっさん!!
おいビショップ
弾を無駄にバラ散き
すぎるなよ
捕虜は取るな
敵の戦闘力を
完全に破壊
するんだ

思う存分やれッ!!
攻撃開始(レッツゴー)!!

何…なんだア!?

奇襲だ!!
敵はどこだッ!!

ヴァンツァーを出せッ!!

戦車もだ!!

ドンドンドン
ズオオオオオ

ぐわあ!!
はッ
速い!!
真紅の
ヴァンツァー!?
クリムゾン・
ブロウ!?
あ…
あれが
……
カッ カッ カッ カッ カッ カッ

ドドドドド
隊長ォ!!

攻撃だと!?
小競り合いくらいおまえたちで処理できんのか

そ…それが…

なんてことだ……
ゆうに1ヵ月分の補給物資が…

ヴァンツァーの交換部品燃料・弾薬・食料品………
敵は何者だ!?

わかりません
確認された敵機は3機
そのいずれもが赤く塗装されていた…と

赤いヴァンツァー!?
クリムゾン・
ブロウかッ
だが
奴らはー
!!
昨夜はパーティーの
はずでした
スパイの報告に
よれば…
ワナだったんだ…
くそッたれ
奴ら
このオレを
ひっかけやがった
ちくしょうめ
!!
パーティーの料理を
無駄にしたのは
悪かったな
その点は
謝罪しよう
だが作戦上
やむを得なかった
そうね
みんな
おどろいて
いたわ
くすっ…
これから
どうするの?
私たちに何か
できることは?

我々は当分のあいだ単独で行動する
これは我々の作戦意図をかくすためめだ
我々が行動を続けるための補給物資の輸送を……
そして最も重要なことは――
君たちがその街を守り切ることだ
どんな犠牲を払ってでも
あのジェノスとかいう傭兵は何を考えてる？
我々にも作戦をあかさず補給だけは要求する
我々だって苦しいんだ馬鹿にしおって
彼を
信じましょう
みなさん
私たちはほかに方法がないのです

私は
彼を信じます
敵襲だァ!!
クリムゾン・ブロウだッ!!

ひゃーっひゃっ
ひゃっひゃーッ
次に死にたい
奴アどいつだ

ビショップ
ハシャグのは
かまわんが
ジェノス様の
左翼の守りを
おこたるな！

うっるせーな
わかってるって
心配すんな

あの紅い悪魔どもの
襲撃によってー
一般の将兵に
不安が拡がっている

ぎゃあああッ

君にきこう
ムールマン・コマンドは
なぜ奴らを
始末できないのだ!?

クリムゾン・ブロウは我々との交戦を巧妙にさけている
弱い正規軍を狙っているのだ

それを防ぐのが君ら傭兵の仕事だ!!
そのために高い金を払っているんだぞ!!

〝連合〟への総攻撃を早めて――
街を陥とし一気にケリをつけるんだそれ以外にない

クリムゾン・ブロウに背後を脅かされていて総攻撃ができるものか!!
あいつらを倒すのが先だ!!

クリムゾン・ブロウが君たちを攻撃しないのは
傭兵部隊どうし
裏で密約を結んでいるからだと疑う人間もいるのだよ

バカな…

バタバタバタバタバタ

アテナ殿
ご自身の
お越しを
願いまして…

ミスタ・ジェノスは
どこに?
次の作戦の
準備を…
どうぞ
こちらへ

あなたに
直接渡すよう
に……と
何?

これは…
作戦ね?
その作戦
どおりに
行動なさい
ますように

ミスタ・ルーク
ひとつ教えてくださらない？

あの人が私たちの不利な仕事を引き受けたのは──
なぜなのかしら？
報酬は十分ではなかったはずよ

我々傭兵は常に政治に利用される存在です
しかし…ごく稀に

混乱した状況を正常に戻すチャンスを与えられることがある

そう…
たしかに

私たちがこの国を追われれば──
政府軍は私たちのシンパを含め反対派の大虐殺をやってのけるでしょう
多大な犠牲を払って私たちが抵抗を続けているのは それをやめさせるためだわ

でもねえ…
正直言って
疲れたわ
誰か
かわってくれる人がいれば
何もかも投げ捨てて
亡命してしまいたい

あなたは…
ジェノス様の妹君に
よく似ておられる

その姿も
考え方も
あるいはジェノス様が
報酬を度外視して——

仕事を受けることを
決意されたのは
そのせいかも
しれません

亡くなったのですか
その
妹という
方は？

いいえ
ですがジェノス様に
とっては——
亡くされるよりも
つらいことに…
バタバタバタ

ごめんさない
余計なことを
きいて…
彼に伝えて
作戦が
終わったら…
今度こそ 本物の
パーティーを
しましょう
あの方は過去に
依頼人の期待を裏切っ
たことは一度も
ありません
では
お気を
つけて
コード07
準備いいか
一気に街を
制圧して
この戦争に
ケリをつけるぞ
ハンティング・
ハウンドを
先頭に市街へ
突入する

我々が市街に
取りつけば
味方も動く

クリムゾン・
ブロウが
どう動こうとも
〝連合〟の本拠地が
陥ちればすべては
終わりだ

ムールマン・コマンドの
実力を見せてやれ
!!

行くぞ野郎ども!!

ドガガガ
うおおりゃア

抵抗拠点になりそうな
建物は徹底的に
潰しながら進め!!

敵ヴァンツァーは
中心街をまっすぐ
中央広場に向かって
います
いいわ
来させて

ジェノスの作戦
どおりね
あの人
敵の動きを
完全に
読んでるわ
恐ろしいくらい…

ドドドーン

ドドーン
ドガガッ
〝連合〟の抵抗は
意外と弱い
いけるぞ
このまま中央広場へ
突入するッ!!

ズズーン ドドーン

ドドーン
この音は…
ビルを爆破
しているのか!?
なぜだ

中央広場に
通ずる道路の
爆破作業
順調です

こちら先頭
部隊
中央広場に
到着した

対戦車班は
?
すでに配置を
完了しました

敵の抵抗は皆無！

やったぞ街は我々のものだ！

撃てェ
全機
撃破しろ
!!

ドゥ
くそッ
伏兵だッ!!

ボム
ドガガガガガ

ヴォン
なんてこった
いつのまにか
囲まれてるぞ

ベルガーが殺られた!!
右だ右だ
この広場から出られないのか!!
ビルのガレキで道路が通れない!!
ちくしょう包囲された!!全員やられちまう
て…撤退命令を!!
うろたえるな!!
作戦予備部隊を投入する
本部ッ!!
至急増援を派遣されたし
ドドドド
くり返す……
本部どうぞ!!
聞こえないのか!?
ズズッ
ムールマン・コマンドの諸君………
残念だが救援は出せない
な…なんだと!?
君たちの予備のヴァンツァー部隊と本部大隊は——

我々が壊滅させた

我々クリムゾン・ブロウがね

ムールマン・コマンドがこうもあっさりと…
やられるはずが…
ぐわあああっ

ムールマン・コマンドを失った政府軍は――
クリムゾン・ブロウの追撃によってさらに損害を増やし――
はるか後方に撤退……

そう…
とても信じられない戦果だわ

心から感謝します
ありがとう

クリムゾン・ブロウは
私たちを救ってくれました

我々の契約は──
すべて終了した
もう行ってしまうの？ジェノス
私にはやらねばならないことがあるのでね
それは妹さんのこと？
ひとつ忠告しておこう
我々は君たちを救ってはいない
我々はただ──
時間を稼いだだけだ
戦いで故郷を追われた君たちの同胞──
戦火に焼かれた村
破壊され ガレキと化した街──

我々は君たちを救ってはいない
人々を救うのは君たちの仕事だ
我々ではない……

私の妹も
かつてはこの世界を救おうとしていた
だが……今は…

私は希望は捨てません
平和への希望は

Vol.5 Crimson Blow/END

Vol.6 Royce Felder
〜ロイス フェルダー〜

ゆうっくり
ゆうっくりと
生命が
流れ出してゆく

周囲の轟音が
遠ざかり
静寂がやって来た…

センチネルが堕ちる
難攻不落の空中要塞が…
世界平和の名のもと
各地に戦乱をひき起し
世界に破滅と混乱を
もたらそうとしたソサエティの
これが最期……

ゴオオオオオオオ
あれは……
グオオオオオオオ！

兄さん!?
ジェノス兄さん!!
ジェノス兄さん
なんだいロイス
今晩は早めに帰ってね
早く? どうして?
どうして…ですって!?

2足歩行型作業機械メーカー
ガングシュナイダー社
研究開発局

ジェノス・フェルダー君
先日の君の提案についてだが——

GUNGSCHNEI

開発スタッフも
取り入れたいと
言っているんだ
ついては
――
君自身も
新ヴァンツアー開発の
メイン・スタッフに
加わってほしい
いいだろう?

はッ…はい

うむ
期待しとるよ
あ…
ありがとう
ございます
おめでとう

ともかく
画期的なんだ
お母さんたちに
話しても
わからない
だろうけど
機械循環機能の応用で
ヴァンツアーの反応速度を
従来の3倍に
引き上げられる

………

これで僕も
メイン・スタッフの
仲間入りだ…

そう
よかったわね 兄さん
それじゃ 兄さんの造ったヴァンツアーは いままでの3倍の速さで 人殺しができるってわけね

ロイス…?

はは… 僕たちが造るのは あくまで作業用の――

ヴァンツアーが 戦争の主役だって ことくらい――
子供でも知ってるわ

ジャーナリストだった 父さんが南米の戦争に 巻き込まれて 死んだのを忘れたの!?

兄さんのような 人がいるから――
この世界は――
破滅へ 向かっているのよ!!

ロ…ロイス!?
ぱたん
ロイス…
ごめんなさい
兄さん
あんなことを言うつもりじゃなかった…
いや… 気にしてないさ
今日は約束を破ってすまん…
ばッ
兄さん…

わたし不安なのよ
どうしてかわからない…
だけど不安でしょうがないの

ロイス…
まだ持っていたんだね

僕が初めてお前にあげたプレゼントだ
露店で買った安物…

安くても
ステキだわずっと好きなのよ…これ

ロイス
昔のようになんでも話してくれ
悩みがあるなら…

子供のころみたいに…?
本当にそうできれば…だけど私たちもう子供じゃないのよ

ロイス…

目を覚まして
ロイス…

気分は？
声が…
聞こえたわ
苦しんでいるような
悲しんでいるような

世界は病んでいる
この聖なる
惑星と
ひとつに
なれば
嘆きの声が
聞こえてくる
オルテリ…

さあ おいで
みんなで
考えるんだ
どうしたらいいか

選ばれた者の
使命を…

よーし
フェルダー君
ごくろうさん

すばらしい性能だ
理論値をすべてクリアーしたね

テストパイロットの力量にもよるさ
フェルダー君がこれほどヴァンツアーの操縦に精通しているとは驚きだよ

自分だけのオリジナルヴァンツアーを造って 乗りまわすのが―
夢なんですよ

ささやかな…ね

階層を下げて…
パスワードを
OK
ログイン
こっちは過去のデータばかり
…か
どうやら最新の研究はもっと下…
あったわ…

ハッカーですって!?
そうだ
研究開発局のシステムに社外の誰かが不正アクセスしていた

犯人は局内職員のIDパスワードを使って侵入し―――

その後我々のシステムのスーパーユーザーになりすまして侵入を重ねていた
ではその最初に使用されたIDの持ち主を調べれば…

そう
だから君を呼んだのだ

犯人は君のIDとパスワードを使って最初の侵入を行なったのだよ
何か心あたりは?

まさか…
妹だとは思いたくない
……だが
ロイスは学校で
情報工学を専攻していたはずだ
…やろうと思えば…
私のパスワードを盗み見て……
カッカッカッカッ
カッカッ

キキキキキキッ

ロイスッ!!
お母さん
ロイスは
どこですッ!!

ガッガッ

ガッ
ガシャッ

ハア
ハア
ハア
………

このような事件があった以上——
君をスタッフにとどめるわけにはいかなくなった

君の能力を考えると——
残念だよ
だが仕方がない

ザ

きみの兄さんがきみのしたことによって職を追われても——
それは彼にとってよいことだ
なぜならこれ以上人殺しの機械を造らなくてすむから…

ザー

ザバァァァァ

きみはソサエティという
組織を知っているか
？

それは世界の死と再生を司る組織なのだ

私はソサエティのために…偉大なる総裁ヘンリー・シャーウッドの子供たちとなるべき才能を探している

ロイス…きみならば――

ショーン・オルテリ氏に
お目にかかりたい
ポタ
ポタ
アポイントメントは
？
ない
私はジェノス・
フェルダー
妹がここにいるはずだ
フェルダーさん？
残念だが
通せませんな
あなたは特にね
……
だと思った
帰ったほうが
身のためだぜ
ポキ
ポキ
出直す
ことにしよう

ビビ
ん!?
フフフ…
フッフッフッ
ズガガガ

うわあーっっ
な…
なんだァ!?
ギギギ
パッ
ズバシャッ
逃げろ——っっ
野郎ッ
ドドドドド
ドガガガ

どうした!?

ロイス!!

兄です

兄さん!!
バカな真似はやめて!
私は彼と一緒に行くわ
ほっといて

勝手なことを……
ロイス
おまえ自分のしたことをわかってるのか!?

オルテリさん!!
ガングシュナイダーから盗んだデータをいくらで売ったか知らないが――
妹を犯罪行為に巻き込むのはやめてもらおう

キャッ
ロイス…
とめても無駄だ…
彼女はもう我々のものだ
我々ソサエティの…
ロイス!!

ボタボタッ
ガッ

だまされているんだ!!
目を覚ませ
ロイスッ!!

兄さん……

貸したまえ

私が片をつけてやろう
我々は忙しいのでね
カチャッ

さようなら

ドン

父さんの…
猟銃!?

ガン!

おお…
おあああ…
こ…殺す
つもりはなかった
ロイス…

いやあああああッ

撃てッ
向こうだ
ヴァンツアーに
気をつけろ

兄さん!!
許さない!!
兄さんを決して許さない!!
ロイス…
ロイス……

ゴォオオオオオオ

ロイス… なのか?

アルベルト

センチネルは
墜ちたよ
総統とともに
だが――
ロイスも
妹も一緒にか…

こいつを――
チャラ
あずかってきた

このペンダントは…

安くても
ステキだわ
ずっと好きなのよ…これ

ロイス！

最後に彼女はお前に「すまない」と
彼女を救えなくて残念だ…

ジェノス・フェルダーは
そうして長いあいだ
風のなかに立ち尽くしていた

Vol.6 Royce Felder / END

エピローグ
鋼鉄の腕は萎え
両足は折れて
全身は錆で
朽ち果てていようとも
彼等は死んでなどいない
風雲が急を告げ
時代が彼等を呼ぶ時まで
彼等は静かに眠っている
平和な眠りのなかで
彼等が夢見るのは
炎と硝煙に彩られた
戦場の夢だろうか……

Albert Grabner
［アルベルト グレイブナー］

ベルゲン共和国の軍人であったが、クーデターに巻き込まれ、傭兵派遣機構・カーネルライト協会に所属することとなる。物語の主人公だが、この本では外伝中心の構成のため、部分的な登場である。

Blenda Lockhart
［ブレンダ ロックハート］

やはりカーネルライト協会所属の女傭兵。アルベルトの追跡をするところで第1話は終わるが、その後クーデター勢力によって囚われ、彼と同じ牢屋に入れられたことから行動を共にすることとなる。

Luven Alhadi
［ルヴェン アルハーディ］

アラブ連邦軍（ＡＲＳ）の破壊工作員。爆薬についての知識は群を抜く。ゾハル同盟の移動司令部・ガレオン内に拘束されるが、ＡＲＳの依頼を受けたアルベルトたちに救出され、一緒に戦い始める。

Akihiko Sakata
［サカタ アキヒコ］

世界的なシールド工学者。第２話後のアルベルトらによって遂行されたルヴェン救出作戦で物語に登場。３話冒頭のテロリスト集団・赤ザメとの戦い以降、仲間となってシールドのデータ収集に励む。

Anita Diamonte
［アニタ ディアモンテ］

秘密組織・ガーディアンの南米支部長。戦争の恒久的維持をめざす集団・ソサエティと争っている。マチュピチュ市長の仕組んだ罠によりアルベルトたちを知り、ガーディアンとの共闘へと導く。

Genoce Felder
［ジェノス フィルダー］

独立傭兵集団であるクリムゾン・ブロウのリーダーである。ヤクート国で同じ反政府側の傭兵としてアルベルトと出会って以降、好敵手としてある時は対立し、ある時は手を結んで行動する。

Royce Felder
［ロイス フィルダー］

ソサエティ司令官。ベルゲン共和国のクーデターなどに黒幕として関与。ただし彼女自身はあくまで新世界構築のためと信じて事を行なっていた。ジェノスの妹らしく、最後まで毅然として闘いを続けた。

キャラクターリスト

あとがき

おれいのことばとかあとがきとか

ゲーム「ガンハザード」の世界は細かく細かあく造ってあってキャラクターをあれこれ動かすにはホント苦労しなかったです。(株)スクウェアさん流石。
マンガ制作にあたってはいろいろとアイディアを出してくれた編集の奥村さん、福嶋さんお世話になりました。つたないマンガ描きの私を使っていただいて感謝しております、ビーム編集部様。
執筆にあたって、いつも遠いところを手伝いに来てくれた渡辺直樹くんありがとう。一度だけ来てくれたお友だちにもおれいを言っておいてください。身重のからだにもかかわらず手伝ってくれた山崎静江さん、すいませんでした。あと、ウチの奥さんの尽力がなかったらマンガ描けませんでした。ありがとう
その他各方面にごメイワク、お世話とかおかけしておりますがとりあえずまとめて御礼申しあげましてごあいさつにかえさせていただきます～～～んでわ。

松田大秀

ブレンダ：なんかこうドレスとか着せてパーティのシーンとかやりたかったなー

エミルだ！

ふん

アルベルト 出番なかった……

ルヴェン→ イメージではもっとカッコイイ人なんですけどねぇ なんかカッコ良さを描ききれなかったというかなんちゅうか……

せまい

タイプの違ういろいろなヴァンツァーをたくさん描かなきゃならなかったのはたいへんでした。いたたーん。

はあっ

Matsu

初出／月刊コミックビーム1996年4月号〜1996年9月号

ASCII COMIX

フロントミッションシリーズ ガンハザード

1996年11月22日初版発行

著者 ● 松田大秀

発行所 ● 株式会社アスキー
〒151-24 東京都渋谷区代々木4-33-10
大代表／03-5351-8111 出版営業部／03-5351-8194（ダイヤルイン）
振替／00140-7-161144

発行人 ● 廣瀬禎彦

編集人 ● 浜村弘一

編集長 ● 金田一健

編集 ● コミック編集部
担当／福島哲平+森好正
装丁・デザイン／日花隆

印刷 ● 凸版印刷株式会社

1760159

Printed in Japan ISBN4-7561-1257-9

松田 大秀
[まつだ たいしゅう]

1961年生まれ
新潟県出身・在住
いろいろあって現在にいたる。
家族は妻と息子がひとり。
生家はお寺。
現在はお念仏を上げさせて
いただく毎日。

GUNHAZARD

フロントミッションシリーズ ガンハザード

松田大秀

アスキーコミックス
ASCII COMIX

AC ASCII COMIX

フロントミッションシリーズ

ガンハザード

松田大秀

ASCII アスキーコミックス

9784756112576
1919979006403

ISBN4-7561-1257-9
C9979 P640E
雑誌48151-73 定価640円(本体621円)
アスキー出版局

フロントミッションシリーズ・ガンハザード

ASCII COMIX

アスキーコミックス
ASCII COMIX

AC ASCII COMIX
フロントミッションシリーズ ガンハザード
松田大秀
ASCII アスキーコミックス

フロントミッションシリーズ・ガンハザード

GUNHAZARD

フロントミッションシリーズガンハザード